

事務事業No.		11-	8
事業名	商工業振興事業費	会計 一般	款 7
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	項 1	目 1
施策	7-2 商工業の振興	課名	産業課
		係名	産業振興係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内小規模事業者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	商工会への助成を行うことで、魅力ある商工業の振興を図ります。
事業内容	商工業振興事業 経営改善や地域振興のための組織強化を行い、魅力ある商工業の振興を図るとともに、地域産業を主体とした、経営改善の指導ができるよう商工会への補助事業を通じて、小規模事業者への支援を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
1	商工会員数(個人、法人)	510	509		件	↑	510	
	2	制度融資件数	19	21	件	↑	30	
	3	商業環境についての満足度	-	-	%	↑	↗	
4								
		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B		50,683		63,225		16,702		
財源内訳	直接事業費A	47,053		59,925		14,212		
	うち一般財源	47,053		14,310		14,212		
人件費(千円) B		3,630		3,300		2,490		
内訳	一般職員(人・千円)	0.55	3,630	0.50	3,300	0.35	2,310	
	臨時職員(人・千円)	0	0	0	0	0.1	180	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善(少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	・商工会補助金については、基準等を定めていないことから、他市町の状況や妥当性を検証し、慎重に協議を重ねる。	③取組の課題	・商工会補助金の基準の未設定と他市町の状況の未把握 ・新型コロナウイルス感染症及び世界情勢の不安定による物価上昇の影響を受けた事業者に対する支援
②R4年度に実施した取り組み	・商工会による小規模事業者への経営改善の指導に係る補助金を交付した。 ・国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用し、中小企業等の経済対策として、キャッシュレス決済ポイント還元事業等を行った。	④今後の改善計画	・商工会補助金については、基準等を定めていないことから、他市町の状況や妥当性を検証し、慎重に協議を重ねる。